

令和 7 年 度 活 動 報 告 書

組織名	運営会議		
構成員 (◎：会長)	所 属		所 属
	◎ あ げ お 福 祉 会		桶 川 市 障 害 福 祉 課
	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー 杜 の 家		障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー あ ら ぐ さ
	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー あ ら ぐ さ		上 尾 市 障 害 福 祉 課
	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー あ げ お		伊 奈 町 社 会 福 祉 課
	第 2 ぶ ち と ま と		(事 務 局) 基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー
目 的	○全体会議運営の協議 ○各部会の活動内容調整 ○障害者福祉計画に関する協議・差別解消地域支援協議会・日中支援型グループホームの評価		
回	開催日	活動内容	場 所
第 1 回	R7. 5. 20	・今年度活動計画の検討 ・各部会の進捗報告（各回のため以下省略） ・就労選択支援について（情報共有） ・児童への支援について（ショートステイの利用）	桶川市地域福祉活動センター
第 2 回	R7. 8. 19	・今年度の日中サービス支援型グループホームの評価のための訪問について（確認） ・全体会の内容検討	桶川市地域福祉活動センター
第 3 回	R7. 11. 18	・日中サービス支援型グループホームの評価内容確認 ・計画相談事業所増への取り組みについて	桶川市地域福祉活動センター
第 4 回	R8. 3. 17	・日中サービス支援型グループホームの評価内容確認 ・今後の部会等の在り方について協議	桶川市地域福祉活動センター
活動報告まとめ			
○主に各部会からの活動報告を行い、地域課題について検討するよう努めた。 ○日中サービス支援型グループホームへの評価のための訪問を行った。 ○今後の部会等の会議の在り方について議論をした。			

令和 7 年 度 活 動 報 告 書

組織名	支援センター部会		
構成員 (◎：部会長)	所 属		所 属
	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー み の り		上 尾 市 障 害 福 祉 課
	◎ 障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー 杜 の 家		桶 川 市 障 害 福 祉 課
	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー あ ら ぐ さ		伊 奈 町 社 会 福 祉 課
	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー あ げ お		大 学 院 教 授 (オ ブ ザ ー バ ー)
	相 談 支 援 セ ン タ ー わ お ん		研 究 助 成 機 関 職 員 (オ ブ ザ ー バ ー)
			(事 務 局) 基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー
目 的	○相談業務における「情報発信と共有」「支援力の向上」「困難事例の検討」「地域課題の抽出」「支援者のエンパワメント」の機会とする。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R7. 4. 9	1 今年度の活動について 2 新規相談受付報告（3 月分）	桶川市地域福祉活動センター
第 2 回	R7. 5. 14	1 新規相談受付報告（4 月分） 2 事例検討（事例提供：あらぐさ、あげお）	桶川市地域福祉活動センター
第 3 回	R7. 6. 11	1 新規相談受付報告（5 月分） 2 事例検討（事例提供：杜の家、わおん）	桶川市地域福祉活動センター
第 4 回	R7. 8. 6	1 新規相談受付報告（6・7 月分） 2 地域課題プロジェクト（導入）	桶川市地域福祉活動センター
第 5 回	R7. 9. 10	1 新規相談受付報告（8 月分） 2 地域課題プロジェクト①（過去 3 年分の事例の傾向分析）	桶川市地域福祉活動センター
第 6 回	R7. 11. 12	1 新規相談受付報告（9・10 月分） 2 地域課題プロジェクト②（不登校・ひきこもり事例の検討）	桶川市地域福祉活動センター
第 7 回	R7. 12. 10	1 新規相談受付報告（11 月分） 2 地域課題プロジェクト③（８０５０世帯事例の検討）	桶川市地域福祉活動センター
第 8 回	R8. 2. 4	1 新規相談受付報告（12 月分） 2 支援者支援のグループスーパービジョン(以下、GSV)（導入）	桶川市地域福祉活動センター
第 9 回	R8. 3. 11	1 新規相談受付報告（1・2 月分） 2 GSV（実践 / 事例提供：みのり、伊奈町）	桶川市地域福祉活動センター
活動報告まとめ			
○新規実績報告の中で、関心のある事柄について積極的に質問が出る場面があった。毎月顔を合わせることで、情報共有しやすい関係が生まれている。			
○地域課題プロジェクトではオブザーバーが R4～R6 事例を分析し、地域課題（不登校・ひきこもり / ８０５０ / 家族問題）が見えてきた。ライフサイクルを意識し、次に起こりうる問題に予防的に対応する伴走型支援の重要性を学ぶことができた。			
○事例提供者の葛藤や支援観などに焦点を当てた GSV を行い、事例提供者の迷いやネガティブな感情を参加者が受け止め、支持的な場を作ることができた。事例提供者の自己覚知がすすみ、エンパワメントが促進された。			

令和 7 年 度 活 動 報 告 書

組織名	計画相談部会		
構成員 (◎：部会長)	所 属		所 属
	◎ 障害者生活支援センターあらぐさ		指 定 特 定 相 談 支 援 事 業 所 い ず み の の 家
	相 談 支 援 事 業 所 あ し す と		相 談 支 援 事 業 所 P O N O 桶 川
	相 談 支 援 セ ン タ ー わ お ん		桶 川 市 障 害 福 祉 課
	桶 川 市 子 ど も 発 達 相 談 支 援 セ ン タ ー		(事 務 局) 基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー
目 的	○計画相談に関する課題抽出・整理を行う ○事業所交流会や研修会を開催し、交流を深め相談支援の質向上を図る ○定期的な事例検討会を行い、相談支援専門員の援助力の向上を目指す		
回	開催日	活動内容	場 所
第 1 回	R7. 5. 8	・ R7 年度活動計画の検討	基幹相談支援センター
第 2 回	R7. 6. 10	・ 7/2 第 1 回連絡会の内容確認	基幹相談支援センター
第 1 回連絡会	R7. 7. 2	・「委託・計画相談支援事業所交流会」を実施。事例検討を通して 委託との連携を学ぶ (17 計画事業所 24 名・委託 4 事業所 7 名・行政 4 名の参加) ・ランチミーティング	桶川市地域福祉活動センター
第 3 回	R7. 8. 7	・ 7/2 連絡会の振り返り・ランチミーティング・事業所見学会	い ず み の の 家
第 4 回	R7. 10. 9	・ 11/6 の内容確認	基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー
第 2 回連絡会	R7. 11. 6	・「就労選択支援を知ろう／テーマ別情報交換会」を実施。前半に R7. 10 に開始された就労選択支援の行政説明と、後半にテーマ別情報交換会を実施 (20 計画事業所 25 名・行政 3 名の参加) ・ランチミーティング	桶川市地域福祉活動センター
第 5 回	R7. 12. 2	・ 今後の連絡会内容について ・ サビ管部会 (グループホーム支部会) との打ち合わせ	桶川市地域福祉活動センター
	R8. 1. 22	・ ランチミーティング・事業所見学会	ぷ ち と ま と
第 3 回連絡会	R8. 2. 24	・「計画相談部会・グループホーム支部会合同連絡会」を実施。計画相談 (18 事業所 24 名) とグループホーム (20 事業所 26 名) 委託 (3 事業所 3 名)、行政 (2 名) との情報交換会) ・ランチミーティング	桶川市地域福祉活動センター
第 6 回	R8. 3. 3	・ 2/24 連絡会の振り返り (グループホーム支部と合同含む) ・ 今年度の振り返り及び R8 年度活動内容について	桶川市地域福祉活動センター
活動報告まとめ			
○対面式の情報交換会 (研修) を 3 回実施した。支援センター部会やグループホーム支部会との連携を意識した交流会の他、日常業務に係る法・体制整備についての意見交換の場を企画し、各相談支援事業所の質の向上につながったように感じる。 ○情報交換会の他、ランチミーティング・Web 上の事例検討会 (3 グループ) を通し、相談員同士の交流や知識向上の一助となった。 ○計画相談に係る圏域のガイド (ルール等) として、事業所からの質問を元に Q&A を作成。各相談支援事業所が適宜閲覧できるように環境を整備した。			

令和 7 年 度 活 動 報 告 書

組織名	サービス管理責任者部会		
構成員 (◎：部会長) (○：コア会議 メンバー)	所属	所属	
	◎ 第 2 ぷ ち と ま と	K a u r i (就 労 支 部)	
	ア ジ ー ル (生 活 介 護 支 部)	ア ジ ー ル (放 デ イ 支 部)	
	す み れ ホ ー ム (グ ル ー プ ホ ー ム 支 部)	○ 障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー み の り	
	○ 伊 奈 町 社 会 福 祉 課	(事 務 局) 基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー	
目的	○障害福祉サービス種別ごとに支部を設定し、支部会にてそれぞれの種別における事業所間連携の強化や質の向上を目指し、地域課題にも取り組んでいく。 ○各支部の活動報告、課題共有を部会で行い、協議をしていく。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R7. 9. 25	・各支部会の取り組み、地域課題の共有・協議	基幹相談支援センター
第 2 回	R8. 3. 5	・各支部会の取り組み、地域課題の共有・協議	基幹相談支援センター
回	開催日	コア会議 活動内容	場所
第 1 回	R7. 9. 1	・第 1 回サービス管理責任者部会の打ち合わせ	基幹相談支援センター
第 2 回	R8. 2. 6	・第 2 回サービス管理責任者部会の打ち合わせ	基幹相談支援センター
活動報告まとめ			
○各支部会の支部長が参加し、支部の報告と協議を実施した。詳細は各支部会活動報告書参照。 ○サービス管理責任者部会開催月 1 か月前（R7. 9. 1、R8. 2. 6）にコア会議を開催した。 次年度も同様に開催月前に必要なに応じて実施する。 ○次年度のサービス管理責任者部会は年 3 回（R8. 6. 9、R8. 12. 15、R9. 3. 9）実施予定。 他、協議事項が発生した場合は、臨時開催する。			

令和 7 年 度 活 動 報 告 書

組織名	サービス管理責任者部会：就労支部会		
構成員 (◎：支部長)	所 属		所 属
	◎ K a u r i		障害者就業・生活支援センターCSA
	アイディアル就労移行支援		あしたのタネ上尾駅前 (事務局) 基幹相談支援センター
目的	○各障害福祉サービス事業所の支援の質の向上と連携強化のための取り組みを実施する。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回 支部会	R7. 6. 25	情報交換会・サビ管・現場職員を対象とし、情報交換を実施 ・「はたらくフェス」について	桶川市地域福祉活動センター
第 2 回 支部会	R7. 10. 26	イベント・「はたらくフェス」開催 ※同時開催「彩の国いきいきフェスティバル」、「こども☆夢☆未来フェスティバル」	県民活動総合センター
コアメンバー会議（支部会前後の打ち合わせ）			
第 1 回	R7. 5. 12	会 議・今年度の活動について ・「はたらくフェス」について ・情報交換会について	基幹相談支援センター
第 2 回	R7. 7. 14	会 議・第 1 回支部会（情報交換会）の振り返り ・「はたらくフェス」について	基幹相談支援センター
第 3 回	R7. 8. 4	会 議・「はたらくフェス」に向けての打合せ	基幹相談支援センター
第 4 回	R7. 9. 3	会 議・「はたらくフェス」に向けての打合せ	基幹相談支援センター
第 5 回	R7. 11. 4	会 議・「はたらくフェス」の振り返り ・就労選択支援について	基幹相談支援センター
第 6 回	R7. 12. 16	会 議（臨時）・就労選択支援について情報交換会 ・特別支援学校の対応状況、この圏域の進捗状況等について（就労選択支援実施事業所、圏域内特別支援学校の進路担当の先生をお呼びして情報交換を実施）	基幹相談支援センター
第 7 回	R8. 2. 5	会 議・就労選択支援について ・今年度の振り返り ・来年度に向けて	基幹相談支援センター
活動報告まとめ			
○関係機関との連携強化、支援技術等の向上を目的に、例年通り情報交換会を実施した。 ○「はたらくフェス」を開催した。事業所商品の販売や紹介等を行うことで、地域への PR 活動、他機関との連携などが促進された。 （※来店者数 公益財団法人いきいき埼玉 集計 ・「はたらくフェス」約 2,100 人 ・「彩の国いきいきフェスティバル」約 3,800 人 ・「こども☆夢☆未来フェスティバル」約 5,700 人 合計約 11,600 人） ○R7.10.1 からサービス提供開始となった「就労選択支援」についての情報交換を実施した。既 に実施している事業所や立ち上げを検討している事業所と特別支援学校 2 校との現状の共有を行 った。			

令和 7 年 度 活 動 報 告 書

組織名	サービス管理責任者部会：生活介護支部会		
構成員 (◎：支部長)	所 属	所 属	
	◎ ア ジ ー ル	か し の 木 園	
	第 2 ぶ ち と ま と	ま つ ぼ っ く り	
	ピ ュ ア ・ ス マ イ ル	り ん ご の 家	
目的		(事 務 局) 基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー	
目的		○主に生活介護事業所のサービス管理責任者等における地域連携を深めていくことで、事業所の運営や支援の質の向上、地域課題の整理や解決に向けた協働に繋がっていくことを目指し、障害のある方への暮らしの充実を目指す。	
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R7. 5. 30	第 1 回支部会【各事業所のプログラムについて】	あげお富士住建ホール
第 2 回	R7. 7. 25	第 2 回支部会【生活介護事業所職員による交流会】	あげお富士住建ホール
第 3 回	R7. 11. 28	第 3 回支部会【各事業所における虐待防止・権利擁護に関する取り組みについて】	あげお富士住建ホール
第 4 回	R8. 2. 27	第 4 回支部会【生活介護事業所職員による交流会】	あげお富士住建ホール
コアメンバー会議（支部会前後の打ち合わせ）			
第 1 回	R7. 4. 18	・ 活動計画について ・ 第 1 回支部会についての打ち合わせ	基幹相談支援センター
第 2 回	R7. 6. 13	・ 第 2 回支部会についての打ち合わせ	基幹相談支援センター
第 3 回	R7. 9. 5	・ 第 3 回支部会についての打ち合わせ	基幹相談支援センター
第 4 回	R8. 1. 16	・ 第 4 回支部会についての打ち合わせ	基幹相談支援センター
第 5 回	R8. 3. 13	・ 今年度の振り返り ・ 次年度について	基幹相談支援センター
活動報告まとめ			
○前年度に好評であった職員交流会を年 2 回開催した。主に経験年数の少ない現場職員を対象として実施したが、人員不足の状況もあり、管理者や経験年数の多い職員の参加も見られた。参加者からは、他事業所の取り組みや支援方法を知ることができ、日頃の支援を振り返る機会になったなどの意見があり、事業所間の情報交換や職員同士のつながりづくりの場として有意義な機会となった。 ○第 3 回の支部会では、虐待防止および権利擁護をテーマに協議を行った。各事業所における支援の事例や課題を持ち寄り、対応方法や支援の工夫について意見交換を行うことで、支援の質の向上や共通理解を深める機会となった。 ○一方で、支部会への参加者の顔ぶれが固定化している傾向も見られるため、より多くの事業所や職員が参加しやすいよう、開催方法や内容について今後検討していく必要がある。			

令和 7 年 度 活 動 報 告 書

組織名	サービス管理責任者部会：グループホーム支部会		
構成員 (◎：支部長)	所 属		所 属
	◎ す み れ ホ ー ム		お に ぎ り
	ご ら く		ビ オ ・ ナ チ ュ ー ル 原 市
	榆 の 木		(事 務 局) 基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー
目的	○新規参入のグループホームとの連携の強化や各事業所で抱えている課題を地域課題としても拾い上げて行き、それをサビ管部会や運営会議につなげて行く。 ○他事業間との連携、情報共有の機会を作って行く。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R7. 5. 27	・ 令和 7 年度の支部活動計画、県の実地指導の報告。 ・ 「高齢者、若年層、一人暮らしへの支援」グループ討議、情報交換。	桶川市地域福祉活動センター
第 2 回	R7. 8. 26	・ 成年後見、実地指導の報告。グループ討議、情報交換。	あげお富士住建ホール
第 3 回	R7. 11. 25	・ 虐待防止・権利擁護の研修。グループ討議、情報交換。	あげお富士住建ホール
第 4 回	R8. 2. 24	・ 次年度の支部会についてと計画相談部会と合同連絡会。	桶川市地域福祉活動センター
コアメンバー会議（支部会前後の打ち合わせ）			
第 1 回	R7. 4. 17	令和 6 年度の振り返りと今年度の活動計画について	基幹相談支援センター
第 2 回	R7. 6. 5	「第 1 回支部会」の振り返りと「第 2 回支部会」に向けて	基幹相談支援センター
第 3 回	R7. 9. 22	「第 2 回支部会」の振り返りと「第 3 回支部会」に向けて	基幹相談支援センター
第 4 回	R7. 10. 27	「第 3 回支部会」虐待防止・権利擁護の研修について 「第 4 回支部会」と計画相談部会との合同連絡会に向けて	基幹相談支援センター
第 5 回	R7. 12. 2	合同連絡会について計画相談部会と合同打ち合わせ	桶川市地域福祉活動センター
第 6 回	R7. 12. 23	「第 3 回支部会」の振り返りと来年度の支部活動計画	基幹相談支援センター
第 7 回	R8. 3. 3	「第 4 回支部会」の計画相談部会と合同振り返り	桶川市地域福祉活動センター
活動報告まとめ			
○令和 7 年度は計画通り 4 回の支部会を開催し、5 月と 8 月はグループ討議を中心に各事業所の問題に全体で取り組み、サービスの質の向上につながった。 ○7 月に地域課題・現状把握のアンケートを実施し、各事業所での課題や状況を拾い上げて行く事が出来た。 ○11 月に虐待防止・権利擁護の全体研修を開催した。 ○2 月に計画相談部会と合同の連絡会を開催し、他事業間との連携、情報共有をする事が出来た。 ○令和 7 年度より地域連携推進会議が義務化された為、支部会での情報共有が出来た。 ○グループホーム情報シートの運用変更を検討し、来年度に活用できる様に行きたい。			

令和7年度活動報告書

組織名	サービス管理責任者部会：放課後等デイサービス支部会		
構成員 (◎：支部長)	所属	所属	
	◎ ア ジ ー ル	特 定 非 営 利 活 動 法 人	K o K o R o 笑
	児 童 デ イ サ ー ビ ス や ま と	児 童 デ イ サ ー ビ ス	あ お ば
	放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス ぐ っ と ・ じ ょ ぶ	児 童 デ イ サ ー ビ ス	た ん ぼ ぼ 上 尾 中 央 店
		(事 務 局) 基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー	
目的	○圏域の放課後等デイサービス事業所間や他機関との連携を図る場を設け、子どもを中心とした支援構築の向上と共通の地域課題について理解を深める。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R7. 6. 18	第 1 回 放デイ支部会 職員交流会 ～新年度を迎え、他事業所、職員間の交流を深める～	あげお富士住建ホール
第 2 回	R7. 11. 20	第 2 回 放デイ支部会 権利擁護・虐待防止研修・情報交換会	あげお富士住建ホール
コアメンバー会議（支部会前後の打ち合わせ）			
第 1 回	R7. 4. 30	・支部会員の紹介 ・令和 7 度の活動計画について	基幹相談支援センター
第 2 回	R7. 6. 4	・第 1 回 放デイ支部会に向けての打ち合わせ	基幹相談支援センター
第 3 回	R7. 7. 2	・第 1 回 放デイ支部会の振り返り ・第 2 回 放デイ支部会に向けての打ち合わせ	基幹相談支援センター
第 4 回	R7. 9. 17	・第 2 回 放デイ支部会に向けての打ち合わせ	基幹相談支援センター
第 5 回	R7. 12. 3	・第 2 回 放デイ支部会の振り返り ・次年度に向けて	基幹相談支援センター
活動報告まとめ			
○昨年度より引き継いだ、職員間での交流の場、権利擁護・虐待防止研修についての 2 回の支部会を開催することができた。 ○放課後等デイサービス間での連携や情報共有を目的とした職員交流会を開催（参加者：62 名、放デイ 32 事業所）し、各事業所の支援について事例検討や支援についての悩みを話し合う場のニーズが高いことが分かった。 ○権利擁護・虐待防止研修を実施（参加者：52 名、放デイ 22 事業所）し、虐待防止についての共通認識や価値観のすり合わせを行うことができた。 ○次年度は事例検討などを通して支援の課題や悩みについて話せる場、権利擁護・虐待防止の観点から支援について見直すことのできる場として、年 2 回の連絡会の開催を目指したい。			

令和 7 年 度 活 動 報 告 書

組織名	こども部会		
構成員 (◎：部会長)	所 属	所 属	
	◎ 障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー あ げ お	多 機 能 型 事 業 所 ア ッ コ ル ト	
	伊 奈 町 子 育 て 支 援 セ ン タ ー	上 尾 市 こ ど も 保 健 セ ン タ ー	
	児 童 発 達 支 援 セ ン タ ー い ず み 園	上 尾 市 障 害 福 祉 課	
	桶 川 市 子 ど も 発 達 相 談 支 援 セ ン タ ー	埼 玉 県 発 達 障 害 総 合 支 援 セ ン タ ー	
	県 央 地 域 療 育 セ ン タ ー	上 尾 市 こ ど も 発 達 セ ン タ ー	
		(事 務 局) 基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー	
目 的	○就学前時期に絞り「定例部会」にて各事業所の事業や現状把握及び地域課題の整理を実施していく。 ○勉強会を開催し、顔の見える連携を強化していく。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R7. 6. 3	・ R7 年度活動計画の検討 ・ 勉強会の日程、内容の検討	埼玉県社会福祉事業団あげお
第 2 回	R7. 7. 30	・ 各事業所の現状、地域課題について（2 か所） ・ 勉強会開催、テーマについて検討	埼玉県社会福祉事業団あげお
第 3 回	R7. 9. 30	・ 各事業所の現状、地域課題について（2 か所） ・ 勉強会の内容について確認	埼玉県社会福祉事業団あげお
勉強会	R7. 10. 29	「こどもを中心とした支援の充実を図るため、連携について考える～こどもの健診について知ろう～」勉強会の実施 （児発・学校・相談・行政等 23 事業所 25 名参加）	あげお富士住建ホール
第 4 回	R7. 11. 26	・ 各事業所の現状、地域課題について（3 か所） ・ 勉強会の振り返り	埼玉県社会福祉事業団あげお
第 5 回	R8. 2. 25	・ 各事業所の現状、地域課題について（3 か所） ・ 地域課題の整理及び来年度の計画について	埼玉県社会福祉事業団あげお
活動報告まとめ			
○勉強会では「法定健診の主な内容と保健センターの関わり」報告と共に各機関連携について情報交換を実施した。 ○児童発達支援事業所、学校、相談支援、行政等が参加し情報交換、意見交換をすることで横の連携、理解が深まる一助になったと思われる。 ○部会構成員の事業所から事業内容、課題、地域課題を共有し、地域課題の整理を行った。 ○次年度は、①相談先の見える化として、昨年作成した「ガイドブック」の有効活用を考えていく②他部会と連携した権利擁護、虐待防止に関する研修等③連携、交流を含めた勉強会を今年度同様年 1 回実施していくこととする。			

令和7年度活動報告書

組織名	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム検討部会			
構成員 (◎：部会長)	所 属		所 属	
	上 尾 の 森 診 療 所		上 尾 市 障 害 福 祉 課	
	武 蔵 野 病 院		上 尾 市 健 康 増 進 課	
	埼 玉 県 済 生 会 鴻 巣 病 院		◎ 桶 川 市 障 害 福 祉 課	
	埼 玉 県 立 精 神 医 療 セ ン タ ー		桶 川 市 健 康 増 進 課	
	埼 玉 県 精 神 保 健 福 祉 セ ン タ ー		伊 奈 町 社 会 福 祉 課	
	自 立 訓 練 施 設 け や き 荘		伊 奈 町 健 康 増 進 課	
	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー 杜 の 家		上 尾 市 医 師 会 在 宅 医 療 連 携 支 援 セ ン タ ー	
	相 談 支 援 セ ン タ ー わ お ん		当 事 者	
	埼 玉 県 鴻 巣 保 健 所		当 事 者 家 族	
			(事務局) 基幹相談支援センター	
	目 的	○精神障害者地域包括ケアシステムづくりに向けた検討を行う ○実践から多機関の役割、機能を互いに理解共有し、連携の在り方を検討する		
回	開催日	活動内容		場 所
第 1 回	R7. 5. 9	・ グループワーク（課題抽出）、カテゴリー分け		あげお富士住建ホール
第 2 回	R7. 7. 11	・ カテゴリーごとにグループワーク		あげお富士住建ホール
第 3 回	R7. 9. 12	・ 前回の振り返り、全体共有		あげお富士住建ホール
第 4 回	R7. 11. 14	・ 話し合いの内容を分類、研修の柱決め		あげお富士住建ホール
第 5 回	R8. 1. 9	・ 研修会の向けての話し合い		あげお富士住建ホール
研修会	R8. 2. 13	・ 地域精神保健における、当事者・家族を交えて考える、 多職種・多機関連携研修会 「地域にあったらいいな！ こんなこと…」 グループディスカッション		あげお富士住建ホール
第 6 回	R8. 3. 13	・ 研修会振り返り、今年度の振り返り、次年度計画		あげお富士住建ホール
コアメンバー会議				
全 6 回	R7/4. 6. 8. 10 . 12 R8/1	主に、にも包括部会の振り返りと次回のための打ち合わせ		基幹相談支援センター
活動報告まとめ				
○当圏域における精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を進めるために、当事者と当事者の家族に参加いただき、当圏域であったら良いことを出し合い、広げ、深める研修とした。				
○グループディスカッション等を通じて、私たちの目指す地域は、「つながりやすい地域に！人と人、機関と機関が誰もがつながれる地域に」ということを柱とした。				
○2月に開催した研修会では、昨年度、「地域精神保健医療福祉研修会に関する研究チーム」の長だった上尾の森診療所の安間 Dr. にもご参加いただき、当事者、家族も参画し、グループディスカッションを行った。				
○今後は、今年度の取り組みを踏まえ、ピアサポート文化を広め、にも包括の活動や取り組みの普及啓発を考えていく。				

令和 7 年 度 活 動 報 告 書

組織名	医療的ケア児等支援部会		
構成員 (◎：部会長)	所属		所属
	◎ 障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー あ ら ぐ さ		県 立 川 島 ひ ば り が 丘 特 別 支 援 学 校
	生 活 介 護 事 業 所 ピ ュ ア ・ ス マ イ ル		県 立 蓮 田 特 別 支 援 学 校
	児 童 発 達 支 援 セ ン タ ー つ く し 学 園		上 尾 市 障 害 福 祉 課
	児 童 発 達 支 援 セ ン タ ー い ず み の 学 園		桶 川 市 子 ど も 未 来 課
	放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス さ く ら		伊 奈 町 社 会 福 祉 課
	埼 玉 県 医 療 的 ケ ア 児 等 支 援 セ ン タ ー ・ 地 域 セ ン タ ー - か け は し		(事 務 局) 基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー
	埼 玉 県 鴻 巣 保 健 所		
目的	○医療的ケア児等に係る関係機関と連携し、上尾・桶川・伊奈地域自立支援協議会で取り組むべき課題を精査していく。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R7. 7. 9	・ R7 年度活動計画の検討 ・ 各事業所の状況と課題の共有	桶川市地域福祉活動センター
	R7. 9. 30	・ 鴻巣北本地域自立支援協議会災害支援プロジェクトの取り組みについて、鴻巣・北本地域障がい者基幹相談支援センターと行政にヒアリングを実施（コアメンバーのみ）	鴻巣・北本地域障がい者基幹相談支援センター
第 2 回	R8. 2. 5	・ 今年度の活動について検討 例：防災の取り組み、学習会 ・ 各事業所の状況と課題の共有	桶川市地域福祉活動センター
活動報告まとめ			
○今年度は、医療的ケア児等の防災についての取組みを検討した。近隣市の状況についてヒアリングを行い、この圏域で取り組めることを再度部会で検討を行った。 ○次年度は、地域での取り組みや防災について知る勉強会を実施する予定である。また、医療的ケア児を受け入れている、児発・放デイとの交流会を検討していく。			